



# 柏ビレジ・ニュース



1991年4月1日



会長 戸崎 巖

## 一年をかえりみて

今年度も、役員各位の献身的なお骨折りと会員の皆様の絶大なご協力をいただき、どうやら無事に年度末を迎えることができました。あらためて心からお礼を申し上げます。

千四百戸、六千人近い住民の価値観はまことに多様であり、自治会に寄せられるご要望、ご意見も又多岐にわたっております。多数意見が必ずしも正しいとは限りませんし、少数の声に耳を傾けることも大切です。自治会運営はこのほごまで揺れ動きました。

役員は貴重なプライベーターの時間を割き、可能な限りの限りの知恵と労力を提供して下さいました。自治会は文字通り自ら治める団体です。役員には何の権限もなく、住民の良識にまつところが極めて大きいのです。

やればやったで、やらなければやらなくて何かと外野からの雑音(失礼)に振り回されたこの一年でした。来年度の役員を引受けてくださる皆様に、一住民としてささやかながらできる限りのご協力をいたしたいと思えます。

ご協力に対し重ねて厚く御礼申し上げます。

## 事業部活動報告

事業部 武内 静三

昨年4月より、一年間自治会の事業部長を務めさせて頂きました。事業部というのは昨年より新設され、それまであった「広報文化部」の文化部、「体育部」、「福祉児童部」をひとつにまとめたものです。事業部員は六名。この人数でこの一年さまざまな行事の推進に努めてまいりました。

事業部の最初の仕事は、七月の「柏祭り田中地区大会」。これは、田中地区で開催される地域行事への最初の参加事業でした。これを足掛かりに「柏ビレジ夏祭り」を迎え、十月に「田中地区市民運動会」に参加しました。この運動会が事業部の行事の中で一番大きな地域参加の行事です。

田中地区の運動会には柏ビレジから延べ二〇〇人という参加選手が必要で、当日多くの参加者の協力は得られたものの、種目によっては役員の方々が二度、三度と走る姿がありました。

しかし、点数の付く種目は皆が頑張り、十七の地域町内会で、総合三位となった。特筆すべきは縄跳びで、二〇人の子供達が一回目で七〇回、二回合わせて一二六回飛びました。また、第三

部長という大役を務めさせて頂きました。皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。

## 支部長としての一年間

### 思いづくままに

第七支部長 望月 恵子

第七支部よろず回覧版係に当り一年、長かったのか短かったのか? 自分に甘かたか? 自分に厳しく生きていこうか、などと考える私に発想の転換期が来たのです。もともと自分に厳しく人様に寛容になれるには、まだまだ時間が掛かりそうです。

定時総会に始まり、柏祭り田中大会、夏祭り行事が続きます。自治会活動とは……など考える間もなく、会長はじめ各役員さん、子供会のお母様方、皆様手際よく働くその姿、文化祭、もちつき大会、皆、自分の得意な仕事を自覚している。

一年間を振り返り、今一番印象に残るのは行事が行われる度に、役員の方々が団結して、活躍される姿でもあります。

田中地区の運動会の時などは、日頃運動不足のお父さん方が、ビレジのために朝早くのテント張りから始まり、競技出場、応援団、そして車で往復の後片づけで、その日は腰痛に、足がガクガクではなかったかと

第八支部長 藤野 慎

一年間を振り返り、今一番印象に残るのは行事が行われる度に、役員の方々が団結して、活躍される姿でもあります。

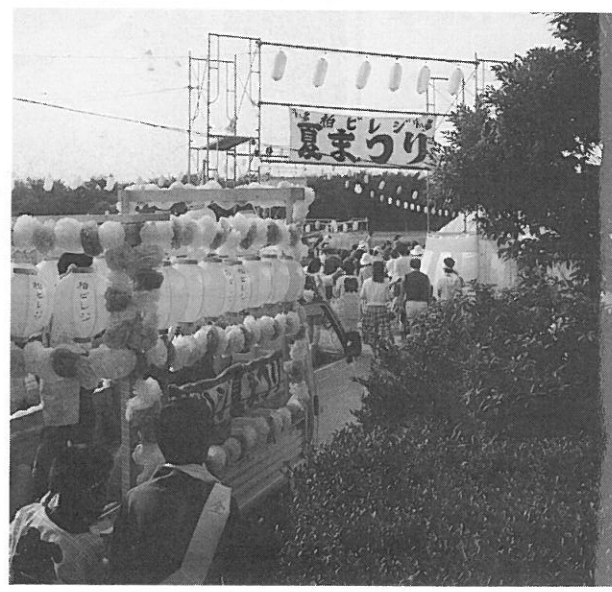
田中地区の運動会の時などは、日頃運動不足のお父さん方が、ビレジのために朝早くのテント張りから始まり、競技出場、応援団、そして車で往復の後片づけで、その日は腰痛に、足がガクガクではなかったかと

った考え方にも触れることができるし、この一年間いろいろと勉強させてもらったという気がします。

支部長という名だけで、やる前からプレッシャーを感じている方も多いと思いますが、気持ちの持ち方次第で、自分のプラスにもなることがわかりました。

確かに気苦労もあると思いますが、私は是非全員の方に支部長を経験していただきたいと思えます。

新支部長になられた方々一年間よろしくお願ひします。きつと今までと違ったビレジに対する見方を発見されることでしょう。



## 第9回柏ビレジ定時総会

★4月21日(日)  
13時~16時  
★花野井小学校体育館

- 柏ビレジ自治会定時総会
- 柏ビレジ緑化協定定時総会
- 柏ビレジ共有施設管理組合定時総会
- 花野井地区建築協定定時総会
- 柏ビレジ建築協定定時総会

# この一年間を振り返る

環境部 中矢隆行

私は今年度の自治会役員として、環境部に所属してきた。しかし、この一年を振り返って見ると、環境部としてやれたのは、七月に「環境を良くする標語」を募集して、環境への関心を高めようとしたことくらいで、後はもっぱら、自治会行事のための TENT 張りや荷物の運搬といった肉体系働の提供で終わってしまった。

自治会の取り上げるべき環境問題としては、違法駐車、騒音、犬のフン害など多々あるが、これらの大部分は、住民個人のモラルの問題であり、金と権力を持たぬ自治会が出来る事は、住民のモラルに訴えるしか方法が無いのが実情であった。

する考え方が、千差万別で個人差が大きいということである。例えば、近隣からもれ来る楽器の音も、「たえなる調べ」と聞く人もいれば、近所迷惑の騒音と思う人もいるし、庭木に遊ぶ小鳥を見ても、良い自然が残っている証拠と思う人もいれば、洗濯物や自動車にフンをかける憎いやつと思う人もいる。このように多様な、あるいは、対立的な意見の中で、誰のニーズにどうこたえるのかは、実に難しい。また、開発に対する考え方も同様で、農薬漬けで管理されたゴルフ場の芝生の緑を心のオアシスと感じる人もいれば、人の手の加わらない自然こそ本物の自然環境と考える人もいる。柏ビレッジは緑の多さがある。柏ビレッジは緑の多さが売り物だったはずだが、今年度、少年野球場とゲートボール場が完成した。少年野球場は中学校予定地に設置されたものだが、孟母三遷の教えなどは絶滅し、学校は悪ガキの集まる騒音源として、中学校ができなかつたのも幸か不幸かわからない。また、ゲートボール場ができたのも、愛好者のお年寄りには御同慶の至りだが、役員会で事前に聞か

されたのは別の場所の、近隣公園の一等地に造られたかなりの面積の緑地が消滅したのを見て、胸が痛んだのは否めない。(この施工者は自治会でなく、柏市です) 何もない自然の中で、時間をつぶすのが苦手で、テニスやゴルフやファミコンなどの道具が無いと、充実した余暇を過ごせない勤勉民族にとって、良き自然環境とは何なのだろうかと思う。環境問題のモラルによる改善が期待できないとなれば、強権発動しかあるまいという意見もある。以前、東急不動産から送られてきた雑誌の中に、ビバリーヒルズの環境管理システムの話が載っていた。それによると、市当局から派遣された監視人が、各家のフロントガーデンを常に見回っていて、手入れの悪い家には警告を発し、三回無視すると、市当局から派遣された職人が手入れをして、あとから、目の玉の飛び出すような高額な請求書を送ってくる。また、窓が壊れていたり、道路にオンボロ車が止まっているも警告の対象になるほどの徹底した環境管理体制と、それにこたえる住民意識によって、美しい街並みが創られているという。要するに、良い環境を手に入れるには、公的機関による強制や私権の制限など、それなりの代償を払う覚悟が必要ということだが、これは全員の合意が無いと出来ないし、安易にされても困ると思う。

このような次第で、環境部の役員同志でも、「性善説」か「性悪説」かの議論もあつたが、結局、住民のモラルに訴えるという人畜無害の古典的方法を採らざるを得なかった。それでも役員の任期を無事終えることができるのは、大部分のベツドタウン住民の「出来ないものは仕方が無い」という暗黙の理解と寛容、または無関心(?)のお陰だと感謝している。

## 3000日か

## 防災の日

3月10日近隣公園において、柏消防署大室分署の協力を得て、平成2年度柏ビレッジ自治会最後のイベントである「防火防災訓練」を行いました。天候にも恵まれ、百余名の参加者により大室分署消防士さんの指導の下、和やかな中にも真剣に訓練が行われました。

最初に「緊急通報訓練」が行われ、実際に電話を使用して災害発生時の通報の模擬訓練を行いました。皆さん上手に通報を行っていましたが、いざという時にはなかなか思う様に言葉が出ないそうです。次に消火器を実際に使用して「消火訓練」が行われ、20数名の方が真剣な面持ちで消火を行いました。丁寧な指導もあり、落ち着いた動作で消火を行っていました。数メートルもある炎を一瞬のうちに消してしまふ威力には今さらながら感心しました。万が一火災が

をしたり、子供相手に緊急通報訓練をやってみる等、家族全員で防災について考えてみてはいかがでしょうか。



### 自治会費納入について

総務部

平素は自治会に対しご理解、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて自治会費の納入について種々の問合せがありますので当欄でお答え致します。

- (1)自治会費は月々300円となっております。支払方法は年2回(4月と10月前払い)各々1800円です。
- (2)4月、10月に三菱銀行北柏出張所の柏ビレッジ自治会口座に振込みをお願いいたします。
- (3)尚、現在預金通帳の摘要欄の表示が自治会費と管理組合費の区別が付かず紛わしいとの意見がありましたので平成3年度より

自治会費→「ジチカイヒ」  
管理組合費→「カンリクミアイヒ」と変更します。



平成三年度の新役員の皆様、柏ビレッジを更に住みやすい街にするため、御苦労様ですが一年間よろしくお願い致します。

最後に自治会役員初体験の感想を述べますと、時間的にかなり制約され、肉体的にもきついことがありますが、何年間もここに住みながら感じる事のなかった、地域社会の一員であることの自覚ができたこと、又、当たり前のことですが、住民の皆さんそれぞれ考え方が違い、一人として同じ人はいないということを改めて実感できたこと等、非常に有意義な一年間を過ごすことができました。

このビレッジニュースも年間六回発行の予定でスタートしましたが、今回、最後の六号となりました。

## 編集後記

昨年の四月、新役員が自治会館に集まり、一年間の事業計画を建て、各季節ごとに各種行事を実施してきましたが、一応計画したことはすべて終了いたしました。